



京と森の学び舎、はじめます。

森里海のつながり。

源流地域と都市とのつながり。

私達と未来とのつながりを、街で森で学ぼう。



【森里海をつなぐ京の学び舎2018】

① 森里海の今を学ぶ「京と森の学び舎」開催 5回

若手の研究者や社会企業家による、森里海や持続可能な社会づくりの講義。

② 森里海での活動「フィールドワーク」実施 3回

芦生の森で、森を守る活動や地域活性化の取組を学ぶ、フィールドワークを実施。

特典：参加者には修了後に京都大学より森里海コミュニケーターの称号を授与！

期間：2018年12月～2019年9月

対象：20代～40代の社会人を中心に、15名程度。

参加費：無料（フィールドワークでの食事など実費は自己負担）

参加希望の方は下記メール（QRコード）まで。締切り：12月14日（金）。

問い合わせ先：京都大学森里海連環学教育研究ユニット（担当：赤石）

MAIL akaishi.daisuke.7n@kyoto-u.ac.jp TEL 075-753-6434



京都大学
KYOTO UNIVERSITY



公益財団法人 自然保護助成基金

森里海の「つながり」を守り、繋ぐための知恵を、 新しい時代を作る皆さんと共に学びたい。

「地球環境問題多くは、森、川、海の生態系のつながりや、
人間社会とのつながりが損なわれてきたために生じたのではないか」

私たち森里海連環学教育研究ユニットは、人と自然とのつながりを科学的に解明し、人と自然の関わり方を見直し、取り戻す活動を、社会の多様な主体の皆さんと共に進めていきたいと考えています。

参加者募集中：例えば、このような「つながり」を探している方へ。

- ・ SDGs、レジリエンス、グリーンインフラなど、企業人として持続可能な社会に必要な知識、情報収集の場。
- ・ 企業、自治体、NPO、大学など同世代の多様な人材が集う場、交流の機会。
- ・ 自然の中で頭と体を動かし、心身のリフレッシュ（ワーケーション）の場。
- ・ 都市と農村の交流、地域の再生、社会貢献への参加の機会。

まずは源流から考える：芦生の森の再生

- ・ 京都市内から車で2時間の場所にある「芦生の森」は貴重な原生林として古くから知られ、およそ100年前から京都大学の研究林として教育や研究が進められています。現在この原生林はシカの食害等による生物多様性の低下が危惧されています。
- ・ 芦生固有種を含む多様な植物や、由良川の源流を支えるこの原生林を守るため、私たちに何ができるか、現場へ行き研究者と共に考えてみませんか。

森里海コミュニケーター：共に学び、森里海連環を社会に実装する

森里海のつながりを取り戻すためには社会の多様な主体と連携・協働していく必要があります。

そのため京都大学フィールド科学教育研究センターでは、これまで「森は海の恋人運動」の畠山重篤氏に社会連携教授として就任いただくなど、社会との連携を進めています。

京都大学と連携し森里海連環学を推進していただく社会人の方々に、森里海コミュニケーターとなっていただき、これから共に活動していただきたいと考えています。



① 森里海の今を学ぶ「京と森の学び舎」

2018年12月～2019年9月 京都市内で2か月に1回程度で開催。毎回、若手研究者や社会企業家など魅力的な講師を招聘し、森里海や持続可能な社会づくりに向けて、参加者との対話型の場を作ります。



② 森里海での活動「フィールドワーク」

2019年4月～2019年9月 京都大学芦生研究林を主なフィールドとして、研究者とシカ害から原生林を守る保全活動やモニタリング調査、また地域活性化の取組を学ぶワークショップを実施します。

今後の予定	12月	2月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
学び舎	○	○	○		○			○
フィールドワーク				○	○	○		